

高知県

第86号 2017年1月

農業技術センターニュース

目 次			
トルコギキョウの冬春出し栽培における炭酸ガス施用効果	… 1	県産野菜の機能性成分の含有量調査	… 4
トゲなしズズの系統選抜	… 2	高軒高ハウスでのハイワイヤー誘引栽培におけるトマト品種特性	… 5
ハウス内湿度制御によるナス病害の防除効果	… 3	高軒高ハウス用ナス有望系統の育成	… 6

トルコギキョウの冬春出し栽培における炭酸ガス施用効果



‘ボヤージュ 1型ホワイト’



‘ボヤージュ サクラ’



‘エグゼライトピンク’



‘セレブプリンセス’

表 トルコギキョウの冬春出し栽培における炭酸ガス施用が切り花品質に及ぼす影響

品種	CO ₂ 施用	収穫日 (月/日)	切り花品質			
			切り花長 (cm)	主茎からの側枝数 (本/株)	商品花蕾数 (個/株)	ブラッシング小花発生率 (%)
ボヤージュ 1型ホワイト	有	2/22	91.5	2.5	5.0	5.6
	無	2/28	88.9	2.5	4.1	22.4
ボヤージュ サクラ	有	3/ 4	91.2	2.5	5.4	1.4
	無	3/ 9	83.8	2.2	4.4	7.2
エグゼライトピンク	有	3/ 8	90.7	2.7	5.3	9.4
	無	3/14	85.1	2.6	4.5	24.5
セレブプリンセス	有	3/ 4	83.2	2.8	4.8	20.2
	無	3/ 9	76.6	2.8	3.6	37.3

注：定植日は9月29日。気温25℃を目標に換気し、15℃になるように加温。

本県におけるトルコギキョウの冬春出し栽培では、短日・寡日照の影響でブラッシングが発生して商品花蕾数が減るなど、品質の低下が問題となっています。

そこで、トルコギキョウの冬春出し栽培において白系およびピンク系の4品種を用いて炭酸ガスの施用が切り花品質に及ぼす影響について検討しました。

炭酸ガスの施用方法は、換気温度を25℃とした施設内において7:00から換気開始前までは1,000ppm、換気開始後から16:00までは400ppmを下回らないように11月26日から

収穫終了まで、供給源のガスボンベからチューブを用いて株元付近に局所施用しました。

その結果、全ての品種で炭酸ガス施用区が無施用区に比べて切り花長が長く、ブラッシングの発生が減り、商品花蕾数が増えたことで切り花品質が向上しました(表)。

今後は、ブラッシングをさらに減少させるための管理方法として、炭酸ガス施用と変夜温管理を組み合わせた場合の効果について検討します。

(花き担当 門田太志 088-863-4918)